

# 2014年度当初予算案を議論へ!

福岡県議会議員  
【古賀市】

# 田辺かずき 県政報告

古賀発! ただいま  
県政刷新中!

～特別号 Vol. 4～  
2014年2月発行

<田辺かずき事務所>  
〒811-3103 福岡県古賀市  
中央 1-6-41-203  
TEL : 092-692-8510  
FAX : 092-410-7730  
メール : challenge@  
tanabe-kazuki.jp

【裏面もあります!】  
■ 12月議会の詳報

## 地域公共交通の将来像を提起

### 「国宝級」馬具の調査支援も

福岡県議会はまもなく開会する2月定例会で、2014年度当初予算案を審議します。私は就任以来、連続12回目となる一般質問に立ち、予算特別委員会のメンバーにも選任される予定です。これまでと同様、地元・古賀市の皆さんからいただいたご意見・ご要望を踏まえながら、小川洋知事

らに住民生活の向上につなげる提案をしていきます。

当初予算案の審議に当たっては、この3年間、私が提起してきた政策課題に特に注目します。医療・介護など福祉の充実、農林水産業の振興、経済・雇用対策、子育て支援の強化、学力・体力の

向上、地域防災体制の構築、筑紫野古賀線をはじめとする道路整備など多岐にわたります。

これに先立つ12月定例会では、地域公共交通の将来像、とりわけ

急速な高齢社会の進行を踏まえ、利用者のニーズにきめ細かく応じて運行される「デマンド型交通システム」の導入促進を知事に提案しました。また、谷山北地区遺跡群の船原古墳の近くから、古墳時代後期の金銅製馬具などを多量に納めた土坑が発見され、「国宝級」との声も上がっていることから、調査・分析などで古賀市への確実な支援を要請しました。

いずれも知事、教育長から前向きな姿勢を示していただけでした。詳細は裏面に特集しています。公式HPやブログでも報告していきますのでご参照ください。



地域公共交通と文化財行政のあり方を提起  
=2013年12月11日

古賀市商工会主催の「新春賀詞交歓会」が大に開催され、地元の

いずれも知事、教育長から前向きな姿勢を示していただけでした。詳細は裏面に特集しています。公式HPやブログでも報告していきますのでご参照ください。

古賀市商工会主催の「新春賀詞交歓会」が大に開催され、地元の

古賀市商工会主催の「新春賀詞交歓会」が大に開催され、地元の



商工会賀詞交歓会で「地元の力」について=2014年1月15日

▼福岡県議会のホームページはこちら  
<http://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/>

田辺の政治活動を連日発信しています!

田辺かずき

で 検索

ブログ(政治活動日記)  
公式ホームページ

facebook

Twitter

<http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>

<http://www.tanabe-kazuki.jp/>

<http://www.facebook.com/kazuki.tanabe>

アカウント→ @tanabe\_kazuki

裏面へつづきます

12月議会

## 船原古墳の調査支援も要請

県議会12月定例会（12月2日～12月19日）で、私は連続11回目となる一般質問に立ちました。高齢社会に対応した地域公共交通の充実と、「国宝級」とも評される馬具一式が出土した地元・船原古墳の調査・研究支援をテーマとし、小川洋知事と杉光誠教育長に提起と認識を共有し、具体的な取り組みも約束していただきました。



知事、教育長に問題を提起した12月定例会・一般質問の様子

### 「デマンド型交通」導入検討の機運高める — 知事

「進行する高齢化への対応、いわゆる喫緊の課題について、市町村長の方々と共通の認識を持つように努める。幅広く福祉的な視点も踏まえ地域公共交通のあり方を検討していただくよう働きかけていく」

私の「デマンド型交通システム」の導入促進を図る提案に呼応し、知事はこう答弁しました。地域における最適な交通サービスの提供には「現場」に最も近い市町村長の皆さんの協力が不可欠で、県として市町村の課題を把握し、ともに解決に向けて取り組む姿勢を示したものです。

デマンド型交通とは「需要応答型交通」を意味し、国土交通省は「利用者の個別の需要に応じて、需要を集約した上で、ドア・ツー・ドア型輸送サービスを提供する形態の乗合輸送」と説明。平たく言うと、それぞれの利用者の事前の予約に応じて、バスやタクシーを運行し、予約した利用者が一緒に乗って、自宅や医療機関・商業施設などへの送迎を受けることができるといった交通システムです。

県内では飯塚市、八女市、広川町で運行されており、知事も「地域の実情を踏まえた事業で有意義」と評価。「予約システムの設備投資、バスやタクシー事業者の方々との調整などの課題があるが、路線型バスに比べ、経費削減、柔軟な運行による利便性の向上も期待でき、地域によっては有効な運行方式のひとつ」と答弁しました。

わが国の高齢化は深刻なペースで進み、国勢調査によると、福岡県の65歳以上高齢者の割合は2010年に

22・5%だったものが、25年後の35年には33・0%に上り、この時75歳以上も2割を突破すると推計されています。私が小学4年生だった1990年、75歳以上がわずか5・1%だったことを考えると、地域の様相は一変します。

「通院や買い物などの日常生活の移動手段が確保できない」——。過疎地域に限らず、古賀市を含む都市圏でも問題が生じており、私も対話集会などを通じ、多くの方から「移動手段を確保してほしい」との切実な声をいただいています。こうしたことを踏まえ、今回、知事には「未来に責任を持つため、いま取り組むべき課題」として提案しました。

### 馬具は貴重な発見、支援に努める — 教育長

「日本の古代史研究に寄与する貴重な発見と評価。船原古墳出土品（の馬具類）は、土ごと取り上げていることから、かなりの調査期間を要する。福岡県にとっても極めて重要な資料であり、九州歴史資料館のX線CTなどを積極的に活用し、詳細な分析を行うなど、引き続き、協力、支援に努めてまいります」

昨年、船原古墳の近くから出土した馬具一式は質・量ともに価値が高いと評価されています。出土品からは、国内に類例のない形状をした「金銅製歩揺付飾金具」も見つかり、新聞各紙が1面や社会面で一斉に報じました。これは県立九州歴史資料館が出土品をX線CTで分析した結果判明したもので、さらに九州国立博物館がコンピュータグラフィックスを使って金色に輝く姿を再現しました。

専門家の中には「（国宝が多数出土した）奈良県の藤ノ木古墳級」との評価もあり、私としては、福岡県として今後も古賀市とともに責任をもって調査・分析、保存・管理、活用に向けた取り組みを進めべきと考え、継続的な支援を要請しました。冒頭の教育長の答弁は、県として確実に支援していく意思を表明したもので、さらに私からは「今後、市町村がその『宝』を生かし、活性化を図ることに引き続き積極的に支援を」と求めました。



### ＜田辺かずきプロフィール＞

- 1980年5月16日生まれ
- 1987年／暁の星幼稚園 卒園
- 1993年／花鶴小学校 卒業
- 1996年／古賀中学校 卒業
- 1999年／福岡県立福岡高校 卒業
- 2003年／慶應義塾大学法学部法律学科 卒業
- 毎日新聞社 入社／福井支局 配属
- 原発事故や災害弱者、日本人拉致問題などを取材
- 2006年／大阪本社社会部 配属
- 橋下徹・大阪府知事（当時）、大阪府警、甲子園、福祉問題、地域活性化、国際紛争などに取り組む
- 2011年／福岡県議会議員 初当選
- 厚生労働環境委員、国際交流推進対策調査特別委員



【所属】 新社会推進商工委員会、防災及びエネルギー・水安定供給調査特別委員会、全国青年都道府県議会議員の会、民主党青年委員会  
【家族】 会社員の妻、6歳の長男、3歳の長女

## “田辺かずき事務所からのお知らせ”

### ◇対話集会を開催

私の県議会活動は地元の皆さんの「声」があってこそ。市内全域の公民館で対話集会を開催し続けており、ご連絡いただければサークル活動などの地域の皆さんの集まりなどにも足を運び、県政報告と意見交換をさせていただきますので、事務所(092-692-8510)まで。



### ◇県政報告書の発送

ブログやフェイスブックなどによる連日の情報発信に加え、紙ベースの県政報告書(1～2カ月に1回のペースで発行)で活動をお伝えしており、ご希望の方には郵送させていただきますので、県政活動の意義と詳細を記していますので、事務所(092-692-8510)までご連絡ください。